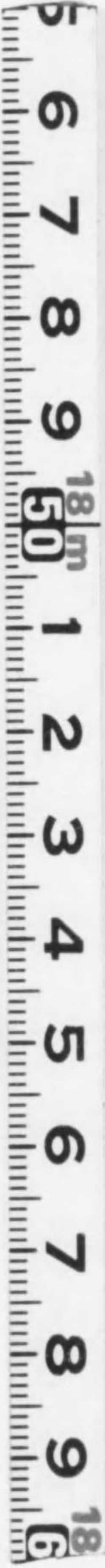
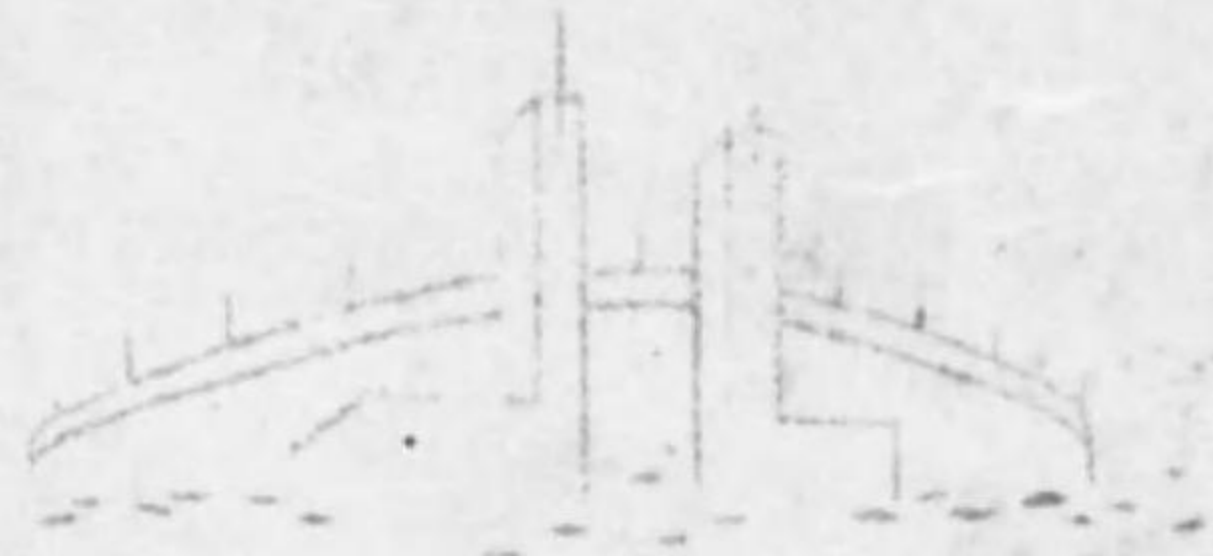


特253

南 海 沿 線

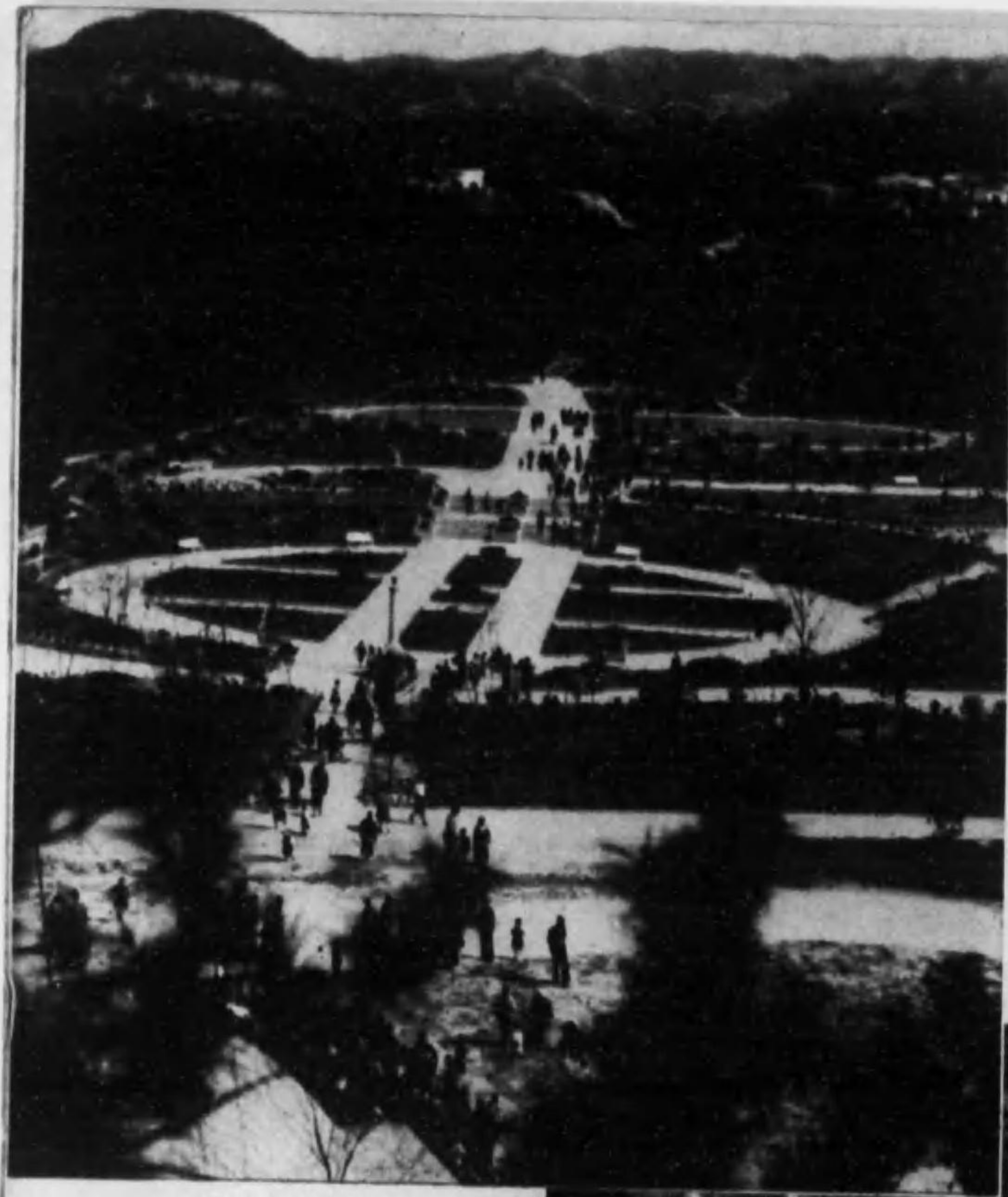
232

厚 生 施 設 冊



始





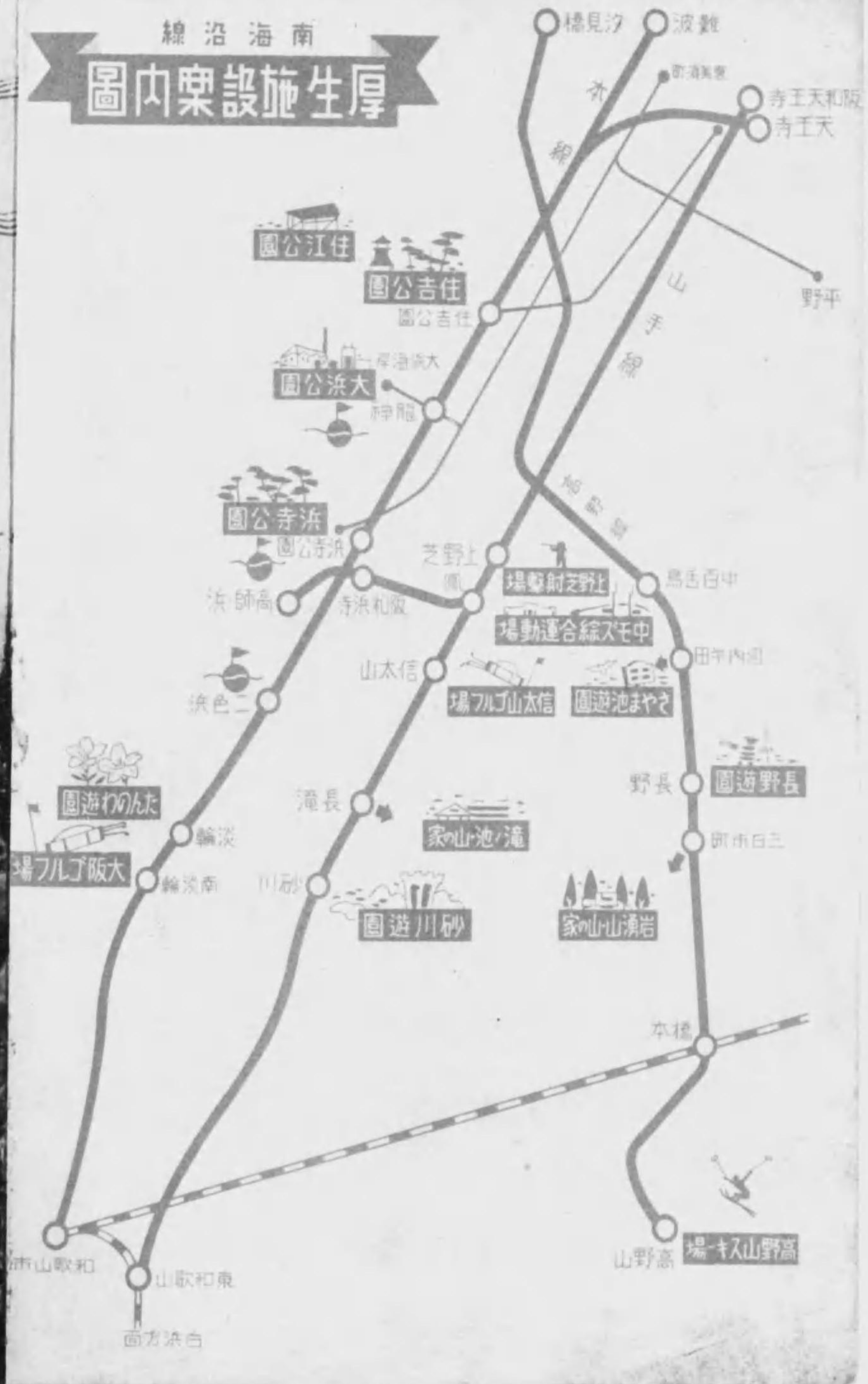
砂川遊園



砂川奇勝



線沿海南
圖内樂設施生厚



特253
232



園遊池まやき



園遊野長



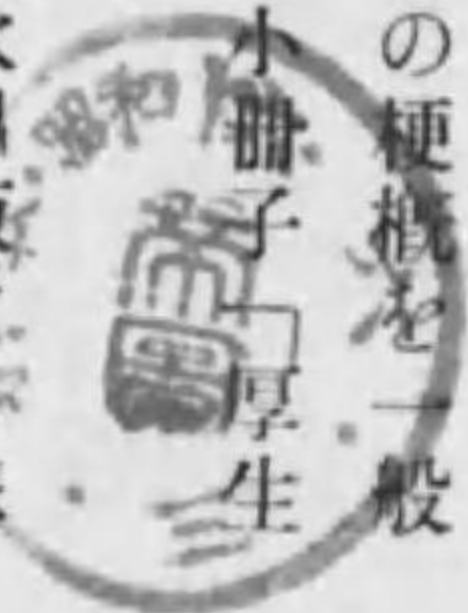
淡輪つゝじ

發刊の辭

八紘一宇の理想を旗幟として大東亞共榮圈確立のため聖なる敢闘を續けてゐる我國に於ては今日程國民の體位向上、心身鍊成の重要性を痛感させられる秋はない。従つて諸般の厚生施設はその心身鍊成道場として愈々存在の意義を深めるのである。

この角度から南海沿線に現存せる厚生施設の中、主なるものを選んでその梗概を一般に紹介し以つて聊なりとも國民の心身鍊成に資せんが爲發刊したのがこの小冊子「厚生施設」篇である。

なほ近日「ハッキング」篇、「神社佛閣」篇、「史蹟傳説」篇其他を逐次出版する豫定であるがその何れも相互關聯をもつものであるから引續き大方の愛讀を希ふ次第である。



昭和十六年五月

南海鐵道株式會社

事業部長

淺田

敏

章

目

淡輪遊園	一
さやま池遊園	四
長野遊園	七
砂川	九
住吉公園	一四
住之江公園	一六
大濱公園	一七
大濱沙湯	一八
堺水族館	二〇
濱寺公園	二二
龍ノ池	二五

次

岩湧山「山の家」	二八
上野芝射撃場	三〇
中モズ総合運動場	三四
海水浴場	三八
大濱・諏訪の森・濱寺・二色の濱	三八
ゴルフリンクス	四二
大阪ゴルフリンクス	四三
信太山ゴルフリンクス	四三
高野山スキー場	四四
春木鍛錬馬場	四五
電車バス(運賃・時間)一覧表	



淡輪遊園 (本線淡輪驛すぐ)

この遊園は紀泉の分水嶺をなす葛城山脈が紀淡海峡に没するところ、地形の變化に富む獨立丘陵地を中心として約五千餘坪、自然の風光に人工の美を加へた大氣清澄な海濱厚生園である。

遊園となつた場所は愛宕山と呼ぶ丘で淡路島と一衣帯水遠く四國の山々や六甲山脈も望見される景勝の地で全山くまなく遊歩道を設け老幼婦女の逍遙にも便利である。この遊園が出来ると導火線となつたものは明治卅六年西村天因が大阪朝日新聞にその風光を紹介してくれた事で翌三十七年には黒崎海岸に海水浴場を施設し民衆に開放して箱作から連絡船で客を運んでゐたが三十九年八月この地に海水浴期間のみ營業の簡易停車場が出来愛宕山に施設を加えて廣く世に紹介するやうになつた。ついで四十二年には假停車場が常設停車場に昇格し四十四年には山上の景勝地に上水道の設備を行ひ全山に電燈を點したりしてこゝに遊園としての形體を備へるやうになつた。かくて逐年數千本の櫻樹を移植し、數萬本の躑躅を植え、休憩所や東屋、ベンチ等が施設され運動場も出来て現在の大遊園地となつたのである。

かくて爛漫の春には丘上丘下に櫻吹雪が舞ひ、晩春から初夏にかけては全山躑躅の花に埋まる。淡



淡輪のくさ

輪と云へば躑躅、躑躅と云へば淡輪と人口に膾炙されるこの躑躅は或は火よりも赤き唐紅にこの一丘を燃え盡くすかと思へば碧波迫るかの一谿は中空を染めて紫雲棚引くかと思られる等壯麗極りなくまことに近畿隨一の躑躅の名所である。また夏は翠緑の木蔭、海から不斷の涼風が訪れて暑さを知らず、濱は青松白砂、波穩かに水清き好箇の海水浴場として賑ふが附近はなほ魚釣によく小島加太と共に有名で、旅館、遊舟、貸ボート、釣舟、網舟などの設備もある。

こゝから淡路島へは攝陽商船連絡船が洲本まで通つてゐるが所要時間は蒼波を蹴つて僅か二時間、歌と傳説の淡路島へ日歸りも出来る。

▼黒崎の松原 遊園の松林が海中に突出してゐる風光明媚な松原で海水浴場となつてゐる。土佐日記に、二

月朝日あしたの間雨降り午の時はかりに止みぬれば和泉のなたといふ所より出て漕ぎ行く海の上きのふの如くに風波みえず、黒崎の松原を経て行く、所の名は黒く松の色は青く、磯の波は雪の如くに、貝の色はすはぐにて、五色に今一ひといろそたらぬと記してある。

▼淡輪御墓（淡輪驛東北〇・一軒）五十瓊敷入彦命の御墓である。高さ十一間、周圍三百九十三間、前方後圓で六千六百十九坪の兆域を有し俗に蓮池と呼ぶお濠を繞らし松樹鬱蒼と森嚴の極みで陪塚が六個ある。

▼船守神社（淡輪驛西〇・四軒）五十瓊敷入彦命、紀船守、紀小弓宿禰を祀る。創建は不詳であるが社殿は國寶で桃山様式三間社流造り、唐破風附千鳥軒など結構壯麗である。

▼淡輪城址（淡輪驛西南〇・六軒）淡輪氏の居城で今は民家、田圃と化したが大丸址は城の藪と呼んで一面の竹藪になつてゐる。廣さ二反歩許り、土手を繞らして小高く東西の二方に漆の址が残つてをり史蹟に指定されてゐる。

▼飯盛山（孝子驛より三・五軒）雄山連峯の中の秀峯で飯を盛つた形をしてゐるのでこの名がある。吉野朝のとき湯淺黨の平巻彦七等がこの山頂に築城して官軍と激戦討死したといはれてゐる。なほこゝには鎌倉時代に飯盛寺があつたので地藏尊や多くの礎石、瓦類が発掘されてゐる。

▲飯盛山コース（孝子驛―孝子観音―飯盛山―淡輪御墓―淡輪驛 徒歩十四軒）幾つかの谷に下り丘に上るなど變化が多くまた尾根傳ひに淡路島を主景とする紀淡海峡の秀れた風光を展望して進む明朗なコースである。



さやま池遊園

(高野線河内半田驛西〇・七軒)

二千餘年の歴史ある狭山池に臨んで緑の芝生と満々たる池水、自然の大景観を取り入れた一萬五千坪を擁する家族向の厚生遊園地で昭和十三年五月一日に開園された。

この地はもと舊狭山藩主北條家の下屋敷のあつた所で池畔には老松數百株昔を語り顔に蒼鬱と茂つてゐる。池の彼方には柔かな線を描いて河泉の丘陵がならび南から東にかけて岩湧山や金剛葛城の二秀峰、二上山が連亘し宛然パノラマ圖繪のやうである。この遊園は最初から

芝生に多く面積を割く事。あまり人工的ならざる事。

天然の風景を重んずる事。家族連れに適する事。

を主眼とし計畫されただけに園内の大部分が芝生に覆はれ人々の踏み、歩き、憩ふに委せてゐる。固く冷い舗装路に飽きた都人にとつてこの芝生路はいかに柔く親しみ深い感觸を與へることであらう。その芝生の處々、春には吉野櫻が爛漫と咲き次々競ふ百花の風情は園内數ヶ所の池に開くかきつばた、花菖蒲、睡蓮などと相呼應して優美、雅麗の極致である。中にも晩春より初夏にかけて紫紺の房を垂らす關西第一の藤は蜿蜒百間の棚に擴がり麝香、八重咲、九尺、四尺紅等の珍品珍種が咲き競ひ



山野路 駅田内河

その美しさは言語に絶する。また園内には猿の家、鳩のアーバート、孔雀、雉子等の禽舎を配置し鴛鴦、鴨その他の水鳥を放養して來遊者の慰安に供してゐるが東南の一隅にトラツク、運動場を設けなほ各種の運動遊戯設備を取り揃へ池にはボート、緑の木蔭には數十脚のベンチを据付けまた大休憩所を一般に開放してゐる。

ハイキング

歴史と自然美のさやま池遊園を中心として附近の名所史蹟を巡るものや、摘草、昆蟲採集に好適な家族向コース、或は遊園から楠公史蹟地へ足をのばす一般向、健脚向コースなどが數多ある中でも代表的なものは

▼法道寺・天野山コース 十五軒

で其の他のコースも興味深い健康道である。

▼狭山池

(河内半田驛西一軒) さやま池遊園に隣接する河内第一の大池で崇神天皇六十二年勅命によつて開鑿計畫され、垂仁天皇の皇子

印色入日子命により完成したものである。(古事記々載) 當時池は東西五町二十五間、南北七町五十六間、周圍一里餘、面積三十五町八反三畝十一歩を有し南河内、中河内兩郡内の五十六大字(現在十一ヶ村)に灌漑の利を興へてゐた。其後聖武天皇の天平三年に行基菩薩が修築し池畔に狭山池院なる寺を建てたが今はない。池中には水分神を祀る小祠がある。この池は藤原時代の昔から名勝地となり訪れる都人が多かつた。

池はさやまの池、みくりといふ歌をかしくおほゆるにやあらん 枕 草子

河内なる狭山の池のひろければ稻葉刈りつむ舟も見えけり 上田 秋成

▼報恩寺(河内半田驛西二二二米) 慶長六年三月播磨上人の開創にかゝるもので淨土宗西山派光明寺の末、本尊は阿彌陀如来である。「天誅組」の史蹟地と云はれる。

▼狭山神社(金剛驛西六六〇米) 延喜式内の神社で祭神は天照皇大神、素戔嗚命を祀り崇神天皇の御代に創建されたものと云はれ狭山郷土の鎮守で神域には狭山池を作つた印色入日子命を祀り狭山堤神社以下攝社末社十社を合祀してゐる。

▼狭山藩址 北條家一万一千石の陣屋址で現在は西の漆趾、葛西神社、舊藩士族邸、養蠶所建物等が残つてゐる。北條家は戦國時代の北條早雲の子孫で小田原落城後北條美濃守氏規が豊臣氏に仕へ河内に二千石を領して狭山藩祖となり以下維新まで十二代相模守氏恭に至つて廢藩となつたものである。



長野遊園

(高野線長野驛東南〇・四軒)



この遊園は石川の清流に臨み、富山の山腹に設けられた面積約一萬五千坪の幽邃景勝の別天地で

開園されたのは明治四十一年五月二十三日である。

其後櫻、楓、萩、躑躅など約十萬本を栽植し山上にはグラウンド、遊動圓木等の施設を行ひ休憩所、見晴し台を兼用した朱塗の大廻廊を建設した。こゝからは攝河泉の平野から遠く茅渚の海まで一望にひらけその昔南朝守備の要塞地となつて激戦の交へられた事が頷かれる。遊園の下、西條川と三日市川が合流する所に行者岩が屹立し、附近の河原は家族團欒の辨當を開くにもよい。殊に初夏の頃には終日河鹿が啼き清流には銀鱗を閃かして鮎が走り魚釣りに水遊

びにも好適である。また水面を飛び交ふ螢火の美しさはこの遊園の名物となつてゐる。なほ當園は春の櫻花、初夏の新緑と躑躅、秋の萩と紅葉など何れも風情豊かである。

▼烏帽子形城址（三日市町驛西北一・五軒）三日市町字喜多の西方蜿蜒たる丘陵が烏帽子形山でその東方中腹に烏帽子形神社があり、神社の背後の丘陵が烏帽子形城址である。この地は元弘の昔大楠公千早城の一支隊として構築されたもので其後楠正儀、和田正武等が屢々此處に據つて北軍に抗してゐる。烏帽子形神社は素盞鳴命其他を祀り正成が當城の鎮守としたと傳へられ社前の老松は楠公手植と稱されてゐる。

▼錦溪温泉（三日市町驛東北〇・二軒）石川の清流に沿ひ三日市橋畔に位し、所謂昔の本陣であつて大名宿と呼ばれてゐた。天誅組もこの宿を本部としたことがある。温泉は加熱鹽類泉で廣大な庭園には梅櫻楓樹が多い。

▼河合寺（長野驛東南〇・六軒）寶珠峯山と號し古義眞言宗御室仁和寺末である。皇極天皇二年、蘇我入鹿が勅命を奉じて創建したものと傳へられる。

▼觀心寺（長野驛東南二・五軒）眞言宗の古刹で楡尾山と號し、本尊七星如意輪觀世音菩薩は國寶祕佛である。文武天皇の朝役小角開創の雲心寺を弘法大師が再建して觀心寺と改稱し高弟道興大師に附して開基たらしめた。其後嵯峨天皇の勅願寺となり歴代天皇の御歸依深く後醍醐天皇は賊徒滅亡王政復古の祈願を籠め給ひ楠正成に命じて金堂を修理せしめられた。同寺は後村上天皇の行在所ともなりまた天皇の楡尾觀心寺御殿がある。本堂は特別保護建造物で境内には大楠公首塚、楠公建掛の塔、恩賜講堂、大楠公銅像、寶物陳列場、其他見るべきもの多く前庭には數百株の老梅がある。

▼天野山金剛寺（長野驛西北五・五軒）古義眞言宗の古刹で聖武天皇の勅願に依り行基菩薩を開基とす。女人高野として名高く寺域は二萬一千六十坪、樓門、多寶塔、觀月亭、御影堂、鐘樓等何れも特別保護建造物で國寶數十點あり楠公一族の遺物も多く後村上天皇行在所址、光嚴天皇御分骨所も拜す。また附近は櫻、躑躅、楓、松茸の名所である。



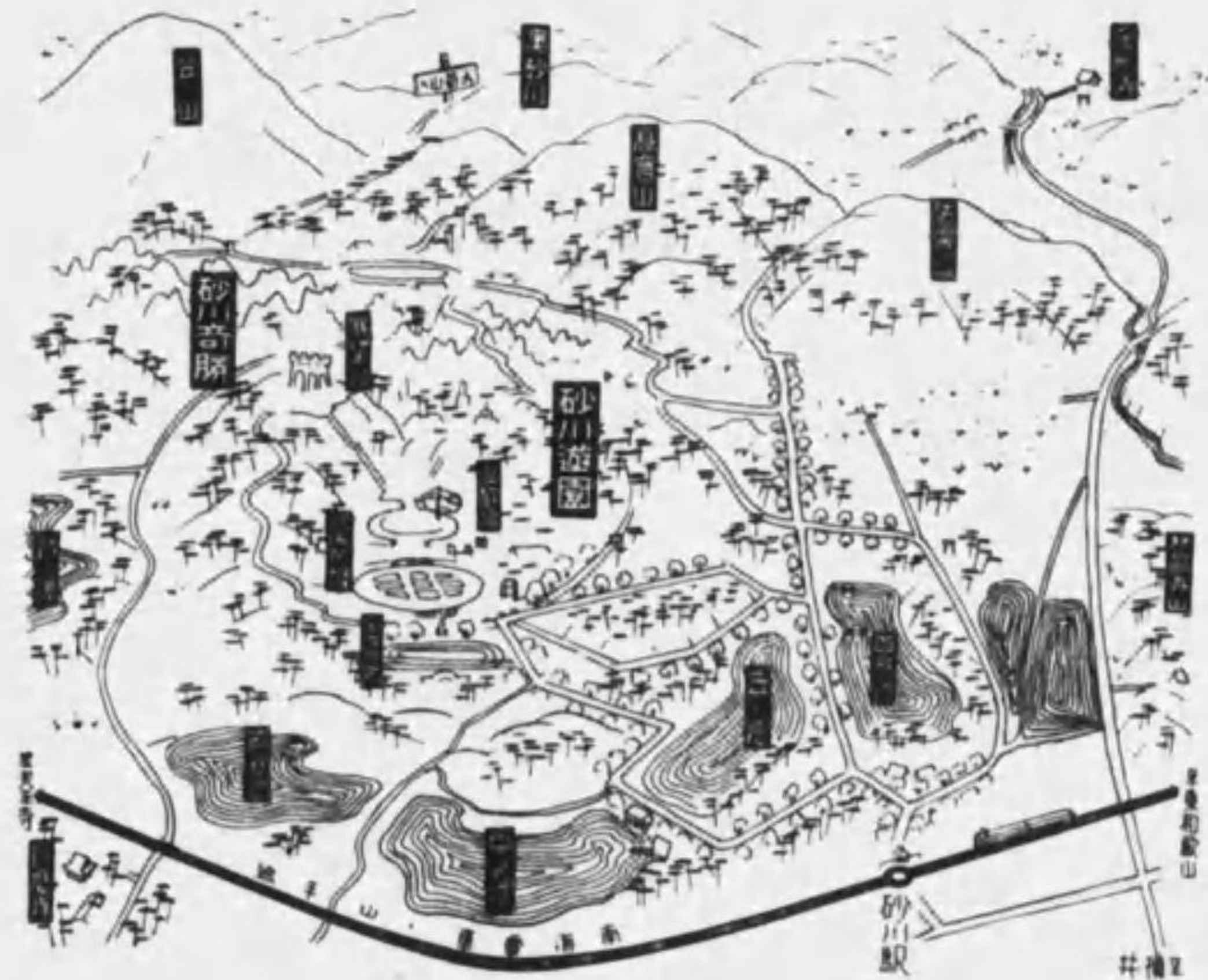
砂 川

（山手線砂川驛すぐ）

遊園奇勝を中心に附近一帯四十數萬坪の地域を總括して砂川と呼んでゐる。雑木林、松林、砂丘の間紺青を湛えた静寂な池沼が大小無數に鏤められ、變化の多いその地勢は野の花も豊富に、お子達家族向のハイキングコースが展げ植物、昆蟲の採集にも好適で宛然一大天然公園の觀を呈してゐる。

砂川奇勝 砂川を語るにはまづ奇勝より始めねばならぬ。砂川の名稱はその文字が示す如く「砂の川」を意味するもので、古書に『砂の水を流せるを以つて此の名あり』と書いてある。奇勝は地質學的には硅質白砂の洪積層で、長年月の間その東南高地を構成する花崗岩の風化崩壊したものが水に運ばれこゝに沈澱し、更に上層を細かい土質で覆はれてゐたが、その一部は雨水に流され抵抗力の強い部分のみが残つて今日の奇觀を呈するに至つたもので他に類例尠く天然記念物に指定されてゐる。大阪府全誌はこの奇勝を評して

全部白砂質なるを以て雨水に削られて崩壊し伏せる所あり、峙てる所あり、峙てるものは飛龍の形を爲し、伏せるものは猛虎の蹲れるが如し。巨蛇は蝦蟇し群猿は手を連ね、家屋然たるあり、船舶然たるあり、達磨は踞



し、布袋は座し毘沙門天は立てり一豁一谷其の趣を別にし景を異にするも、一雨來らんか忽ち新形となるを以て其の伏したるものは峙ち、峙ちたるものは伏し、家屋は船と換り、船は家屋と變じ、猛虎は飛龍と化し、飛龍は猛虎と轉じ、達磨は布袋となり、毘沙門天は隠れ、巨蛇は遁れ、群猿去りて五百羅漢現れ出づるなど、昨日の觀は今日に見るべからず今日の景は明日を期すべからず。故に雨降る毎に千變萬化して端倪すべからざれども其の皚々たる白雪界たるは終始一貫せり。

云々と記してゐる。もつて奇勝の風貌が覗ひ知れよう。しかも雪を欺く純白な崖の上、岬の背、島の頂には老松の緑も濃く、その下を流れる玉屑のやうな砂川のきらめき——行基菩薩がこの地を探勝されてより文人墨客の杖を引くもの多く

沙山や松鑊めて風薫る

と俳人月斗も詠み稱えてゐる。

砂川遊園

奇勝を背景に楚々たる松林、亭々たる雑木林に囲まれた日本有数の沈床花壇を始め、中の池、丘の池、百合の池など清冽な瑠璃盤を擁し、自然の風景をその儘取り入れて昭和十年十月に誕生したのがこの遊園である。まづ沈床花壇の周囲には飛行船塔、スワンボート、象すべり、ブランコ、猿舎、大小數種のグラウンド、トラツク等子供本位に厚生施設が整つてゐる。なほ其の他に展望臺、表忠塔、野外ステージ、演藝場、無料休憩所等があり、中でも展望臺はゴシック様式の清新な姿をクリーム色に化粧して遊園背後の丘上に聳えてゐるが、此處からは白皚々の奇勝がパノラマの如く眼下に展げ茅渟の海を一時に蒐めることが出来る。

遊園はまた花の名所で、梅に始まり菊に終る迄百花盡きる時がない。櫻花爛漫は云はずもがな、つゝじ、芍薬、アザレヤ、ダリヤ、カンナ草、萩の花などエデンの樂園もかくこそやと思はれる。特に近年牡丹の名所として名を賣り出した。その種類二百、その株數五千、さん／＼と降る陽光を浴びて大輪の花妍を競ふ豪華繪巻は言語に絶するところである。

なほ中の池々畔には五十餘種、百萬球の大チューリップ園が彩とり／＼に池を染めて絢爛たる花莖を繰り展げ「花の砂川」を一層引立てゝゐる。

ハイキング 雑木林、山の池、松林、砂の丘——これらバライターに富む諸コースが遊園、奇勝を取り入れて小鳥の唄ものどかに展開されてゐるが主なるものは

高倉山コース（四軒）、柳谷池コース（五軒）、奥砂川コース（四軒）、柳谷池・畦の谷コース（七軒）、畦の谷コース（五・八軒）、笠山コース（五・五軒）

等で何れも危険性がなく、子供や家族連れには手頃で興味のもてるハイキングコースである。

▼**金熊寺**（砂川驛東南二軒、同驛又は樟井驛よりバス）一乗山金熊寺と號し眞言宗仁和寺末で如意輪觀世音を本尊としてゐる。天武天皇白鳳十年役小角が創建したもので、本尊は小角の靈夢によつて土中より金銅六寸の尊像を得、自ら四肘の木像を造つて其の聖容を納め寺に安置したものと云はれてゐる。寺名は小角が金峯、熊野の兩神を勧請したのに依つてゐる。

▼**信達神社**（金熊寺の西隣）祭神は神倭磐余毘古命（かむやま、とよひのむすこ）他二體で、所傳によれば往古樟井海岸に神倭磐余毘古命の尊像があり奇瑞を現はしたので里人神慮をトしこの地に社殿を建て遷し奉つた。信達莊十三ヶ村の産土神である。

▼**金熊寺梅林** 金熊寺の後丘、一目千本を中心として中の千本、奥の千本、梅のトンネルなど金熊寺川の清流に沿ふ大梅花郷で古書に

溪間は梅樹ならざるなく、老幹槎枒として枝を交へ、花時には満山白雲と化し高潔の風貌、清楚の姿趣、幽香鼻を撲ちて轉た仙境に遊ぶの思あらしむ……と記してゐる。



遊園の展望

▼**林昌寺**（砂川驛南〇・六軒）躑躅山と號し眞言宗仁和寺末で本尊は阿彌陀佛である。天平年間、聖武天皇が行基に命じ開創せしめられた。織田氏の兵燹に罹つて全く烏有に歸し、後眞海の中興したものが現在の堂宇である。境内は岩つゞじ、櫻の名所で眺望も勝れてゐる。

▼**長慶寺**（砂川驛北〇・六軒）金泉山と號し眞言宗仁和寺末で如意輪觀世音を本尊としてゐる。本尊は行基の作と云はれる。聖武天皇の神龜元年行基に開創せしめられた。後織田氏の兵燹に廢絶し僅かに残つた海會宮池の中島觀世音を移し大野主馬が再興したものである。

▼**畦の谷**（砂川驛東北一軒）高倉山の裏手と共に化石露出地として有名である。附近は岩つゞじの名所で地藏尊がある。

▼**義民小平次の墓**（砂川驛西南一・六軒）小平次は泉南郡雄信達村（現在信達町）の百姓で、桃園天皇の御代旱害と蝗害と同時に起つた大飢饉の際、村民十七名と謀り藩の倉廩を破つて米を窮民に頒つた。そして法度に訊されたとき小平次は十七名の釋放を嘆願し自分のみ犠牲となつて刑場の露と消えたのである。その墓は極樂寺境内にあり高さ約二尺三寸、幅約一尺四寸許の自然石碑が建つてゐる。



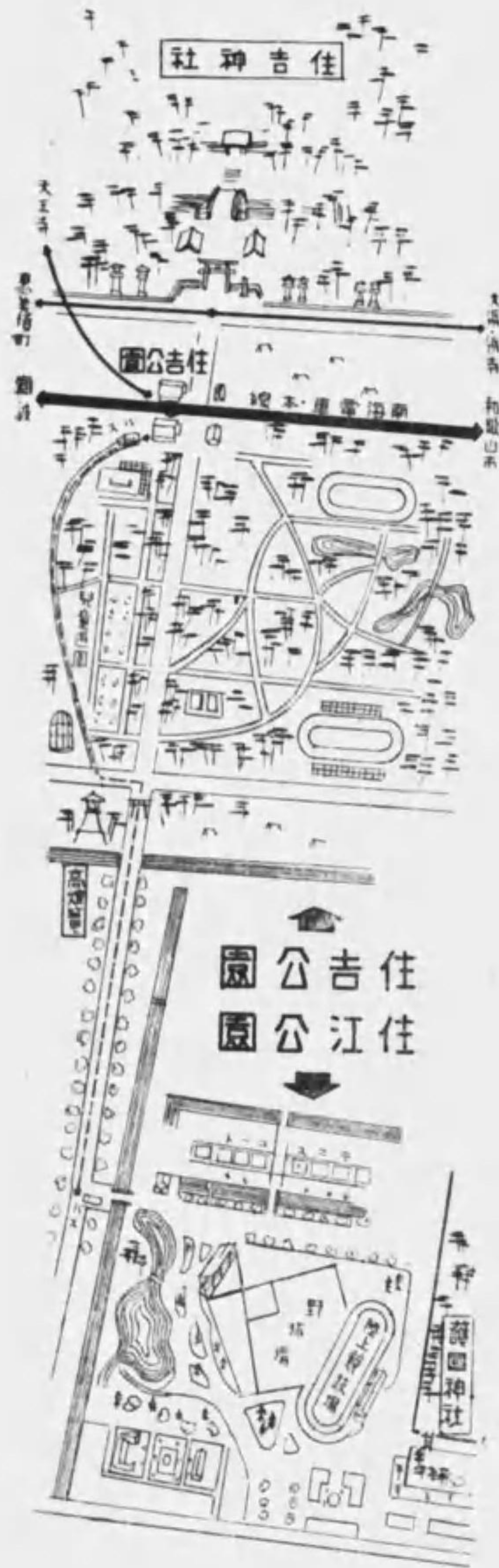
住吉公園

(南海本線住吉公園驛、又は阪
堺線住吉鳥居前停留場すぐ)

この公園は大阪府三公園の一つで面積三萬八千五百三十七坪、老松の間、體育的施設と文化的施設を併せもちしかも不自然な工作を避けて清楚な氣分の横溢した模範的近代都市公園である。

この地は昔の住吉神社々城の一部で馬場の松原であつたが明治六年八月に公園となつたのである。所傳によれば崇神天皇の御宇三柱の大神が高天原より御降臨住吉浦に影向の砌三本の松樹忽然として一夜に生じたので是れ大神影向の瑞木なりとして永く住吉に鎮座し給ふ先表であるといはれる。それ故園内は今でも老松多くこれを主體として花壇、芝生、池、築山、温泉、猿舎など自然を損はぬやうに配置されてゐる。鐵棒、廻旋塔、シーソー、ブランコや陸上競技場などの體位向上施設の完備せる他方には休憩所、藤棚、ベンチ、ママゴトの家などの設備もあり、煤煙を避け俗塵を捨て、明日の活躍に備へる一日の休養、否午後の勤勞に對する午前の精養をも圖ることが出来る程大阪の中心地から近距離最短時間にある厚生園である。

▼住吉神社 (住吉公園驛又は阪堺線住吉鳥居前すぐ) 官幣大社、攝津國の一宮で底筒男命、中筒男命、表筒男命を祀り神功皇后攝政十一年の創建で其後神功皇后を併せて四座とした。古來皇室の崇敬甚だ厚く本殿は四棟とも



謂ゆる住吉造で特別保護建造物である。社頭は往合森と呼び老楠、巨松鬱蒼と茂り莊嚴なる社殿其間に配列して自ら敬慎の念を生ぜしめる。境内には反橋や子持狗犬、誕生石、十萬巻の書籍を蔵する住吉文庫、齋殿、舞樂所等があり何れも史蹟や傳説の匂ひ豊かなものばかりである。而して古來社頭に關する歌詠は枚舉に遑なく萬葉、東鑑、新古今其他に記載されてゐる。

▼高燈籠 (住吉公園驛西一・五軒) 創設の年代は詳ではないが墨塗の燈籠で住吉の高燈籠と云はれ反橋と共に住吉の代表的なものになつてゐる。これは住吉神社が船舶の守護神であるから其の標的の爲に設けて船舶の目標にしたものである。



住之江公園

(本線住吉公園驛西
二軒、バスがある)

住吉公園の南方に隣接した水田を埋立て大阪府が土地買収費三十九萬圓、工事費二十五萬圓を投じて建設した面積四萬三千五百坪の理想的運動公園である。

約七千坪の野球場を中心として八千坪の陸上競技場、八ヶ所のテニスコートはこれらに附随する観覧スタンドも遺憾なくスポーツを通じて市民の厚生を圖つてゐるが運動後の休憩には園内に清冽な水流

を配し菖蒲、燕子花などを咲かせ緑樹を植え築山、池を設け爽やかな氣分を漲らしてゐる。

また温室、花壇、藤棚、釣堀、休憩所、ベンチ等の設備もあり、子供達の爲には別に約千五百坪の遊園を解放してゐる。住之江公園は要するに人工美を主體として動と静とが渾然融和して一體となつた闊達明朗しかも多分に積極性を具備した厚生地である。



大濱公園

(阪界線大濱海岸驛前附近一帯)

大濱公園は堺市の西部海岸に面する廣袤七萬七百七十二坪七合七勺の砂濱一帯を云ひ南、南新、北の三公園に分れ大濱汐湯、堺水族館、大濱海水浴場、市立運動場もこの地域内にある。

舊堺縣では明治十二年七月二十一日陸軍省より大濱砲臺敷地二萬九百十五坪五合五勺を海防上須要の時は除却する約束で無料使用の許可を得て二千圓を投じ創設したのがこの公園の生い立ちであるが後大阪府の管理となり明治二十二年堺市の所屬となつた。第一期の公園は一萬三千餘坪に過ぎなかつたがその後數次の擴張で面積は大をなしたが公園施設としては未だ不充分であつたものを當時の阪堺軌道株式會社(大正四年南海と合併)が經營と設備を引受けて四十五年五月卅一日には先づ大濱公會堂(後日堺市へ賣却)を建築し大正二年一月には大濱汐湯を開業し漸く公園の體裁をもつやうになつた。

かくて大正三年四月には公園内に龍宮殿を建設して貝人形を一般觀覽に供しその後菊人形や霧島人形を公開して人氣を呼んだが大正十二年七月同館を賣却したので是等の人形展視は取止めになつた。遡つて明治卅六年大阪市に勸業博覽會が開設ありし際この公園に水族館の出來たのをその儘堺市が保存經營するに至つたことや海水浴場の開設などがあつて大濱公園は日を追ひ來遊者が多くなつた。公



園設置以前のこの地はいぶせき漁家のみ点在し海濱の風景を賞で、杖を曳く僅かな人々の爲に粗末な葭簀張の掛茶屋があつたに過ぎなかつたが今は大度高樓軒をならべて繁盛してゐる。

大濱潮湯

(阪堺線大濱海岸驛前) 茅渚の

蒼海を見晴し遠く淡路島を望む景勝の地大濱南公園に一目立つモダン様式の瀟洒な建物が大濱汐湯である。大正元年十二月二十日に潮湯が竣成し翌二年一月二日を卜し阪堺軌道直營の下に開業され逐年設備の擴大、改善を進めたのだが海水浴場の發展に伴ひ潮湯は浴客を收容し切れなくなつたので昭和三年五月大改造を行ひまた子供達の爲に屋外には興味

ある各種の運動器具を備へ運動場を設けなほ同年七月には最新式劇場がデビューし翌四年四月には潮湯内附直營食堂が出来、海に面して休憩所を新設する等内容外觀とも大いに整つた。その後昭和九年には關西大風水害の被害を受け同十四年五月には火災の爲一部焼失の難を被つたがその都度禍を轉じて福となす意氣込で内容の充實、改善を圖つた結果大濱汐湯は今日では一般大衆の明朗厚生園、健全慰安場となつたのである。現在施設の主なものは

汐湯浴場、家族湯、本館の娯樂場、洋書・ニュース・短篇漫画上映の劇場や日曜祭日に餘興上映の階上演藝場の他室内娯樂場にはベツテイハウス、動物狩、象乗、達磨浴し、風神、雷神、トーカー、腕力を試す驢馬嘶きその他占ひ遊び種々、お子達に喜ばれる乗馬機、ハイキング機など數へ切れない。また魚釣、金魚遊びや圍碁、將棋室、卓球ボール、讀書室、食堂喫茶室、電気治療室もあり休憩所には湯茶を用意してゐる。

屋外遊戯場には豆自動車を始め、數多の子供運動器具、動物舎、水禽舎等があり美しい花壇をはさんで家族連れ一日の團樂を充分に楽しむことが出来る。

▼入場料 大人十五錢、小人十五錢、幼兒五錢、サービスタイム(午後七時より)大人小人共七錢

▼回数券 記名式(記名本人共四人迄通用)二十回綴二圓四十錢、無記名式 十回綴一圓四十錢

▼團體割引 二十五人以上十三錢五厘 五十人以上十二錢五厘 百人以上十一錢五厘 二百人以上十錢五厘

堺水族館

(阪堺線大濱海岸驛西〇・一軒) 明治三十六年三月大阪市に於て第五回内國勸業博覽會があつた時に建設されたもので我國最古の完備せる水族館として著名である。昭和十三年三月全焼する處となつたが翌十四年四月一日には早くも開場することが出来た。かくて最新科學の粹を蒐め東洋第一を誇る陸の龍宮堺水族館には世界屈指の大魚槽を始め大小百數十の魚槽には至る處の珍魚、奇貝を網羅して海の驚異と神秘とを公開してゐる。

園内には龍神の女神なる噴水塔が高く聳え、あしか、海龜、鰐の池、猿の島、らくだの檻、水禽舎、参考館など場所を得て設置されてゐる他屋外ステージ、運動場、子供の遊戯設備もあり周囲の小松の丘は茅海を見晴し庭には吉野櫻、山吹、つゝじ、萩等四季それ／＼の花を咲かせてゐる。

▼入場料 大人十五錢 小人五錢 ▼普通團體 三十人以上十三錢 小人四錢、百人以上十錢 小人三錢、五百人以上五錢五厘 ▼學生團體(職員引率のものに限る但し附添を含む) 大人十錢 小人三錢 ▼開館時間 三月―十月 午前八時卅分―午後五時卅分 十一月―二月 午前九時卅分―午後四時卅分

全國學生相撲 公園運動場の特設土俵で毎年開催してゐる。これは明治四十三年頃大阪日報主催の下に住吉神社で開設したのがその起源であるが大正八年大阪毎日新聞主催本社後援の下に全國專門學校、大學及全國中等學校第一回相撲大會が開催されてより逐年盛大になり今では日本學生相撲の檜舞臺となつた。 大瀨砲臺址(臺場址) 消費に來た米艦により邊防の急を知り安政二年に築造されたのが該砲台で其遺址は南台場址(水族館裏手の土堤等)と北台場址として残つてゐる。北公園の西方は北臺場址で砲門置場址等當年の遺構を示すものが多い。



濱 寺 公 園

(本線濱寺公園驛、阪堺線濱寺驛前すぐ、又は本線羽衣驛、山手線阪和濱寺驛西〇・二軒)

東洋一の海水浴場をもつ濱寺公園は面積十四萬七千七百七十三坪、白砂の汀を運ね老松、稚松千歳の色を含みオゾンも豊富に體育施設も整つた景勝の海濱公園である。

公園は昔の高師の濱の一部で泉北郡濱寺町、高石町に跨り前面には一碧瑠璃の如き茅渚の海を湛へ水天髣髴する處淡路島は翠黛の如く、北は攝播の連山を仰ぎ南は紀海、阿漢を遠望しまた背後には葛城金剛、二上の秀峰を控へ老松は蟠屈して臥龍の如く、その間、東屋ありベンチありトラツクありブランコ等がある。テニスコートは大正十三年七月其迄の設備を一變し南海電車が總工費四萬五千圓をかけて二個のコートを中心に收容人員五千人の堂々たる鐵筋大スタンドが馬蹄形となつて聳立し總坪數一千五百坪その一方にクラブハウスを建て内容、外觀共に東洋有數を誇る現在の濱寺庭球場を完成したのであるが今は大阪府に寄贈してゐる。

沖つ波たかしの濱の濱松の名にこそ君を待ちわたりつれ
身をわぶる涙は今も和泉なるたかしの濱にみつる汐なり

紀 貫 之
凡河内躬恒

これ等の和歌を見ても既にこの地は平安朝の昔よりその風景を賞し杖を曳くもの多かつたことが知



住吉公園

館族水堀



館物博業農

れるが戦國時代には荒れ果て、顧みるものもなく
なつた。降つて寶永年間領主田安家は現今の紀州
街道以東を田地とし以西に松樹を補植して防風林
としたので寛延年間には松林は南北二十四町、東
西八町に及んだ。その後維新以來松林伐採に關す
る當時政府の方針は朝令暮改反覆常なかつたが、
税所篤が堺縣令となるや明治五年十二月太政官の
命で士族授産の爲にまた斧鉞を加へることになり
名松も續々濫伐されて千歳の勝區忽ち荒廢に歸せ
んとしたが翌六年六月時の内務卿大久保利通たま
く此の地を巡視し其の暴狀に驚き同伴の税所縣
令に

おとにきく高師の濱の松が枝も

世のあたまみはのかれさりけり

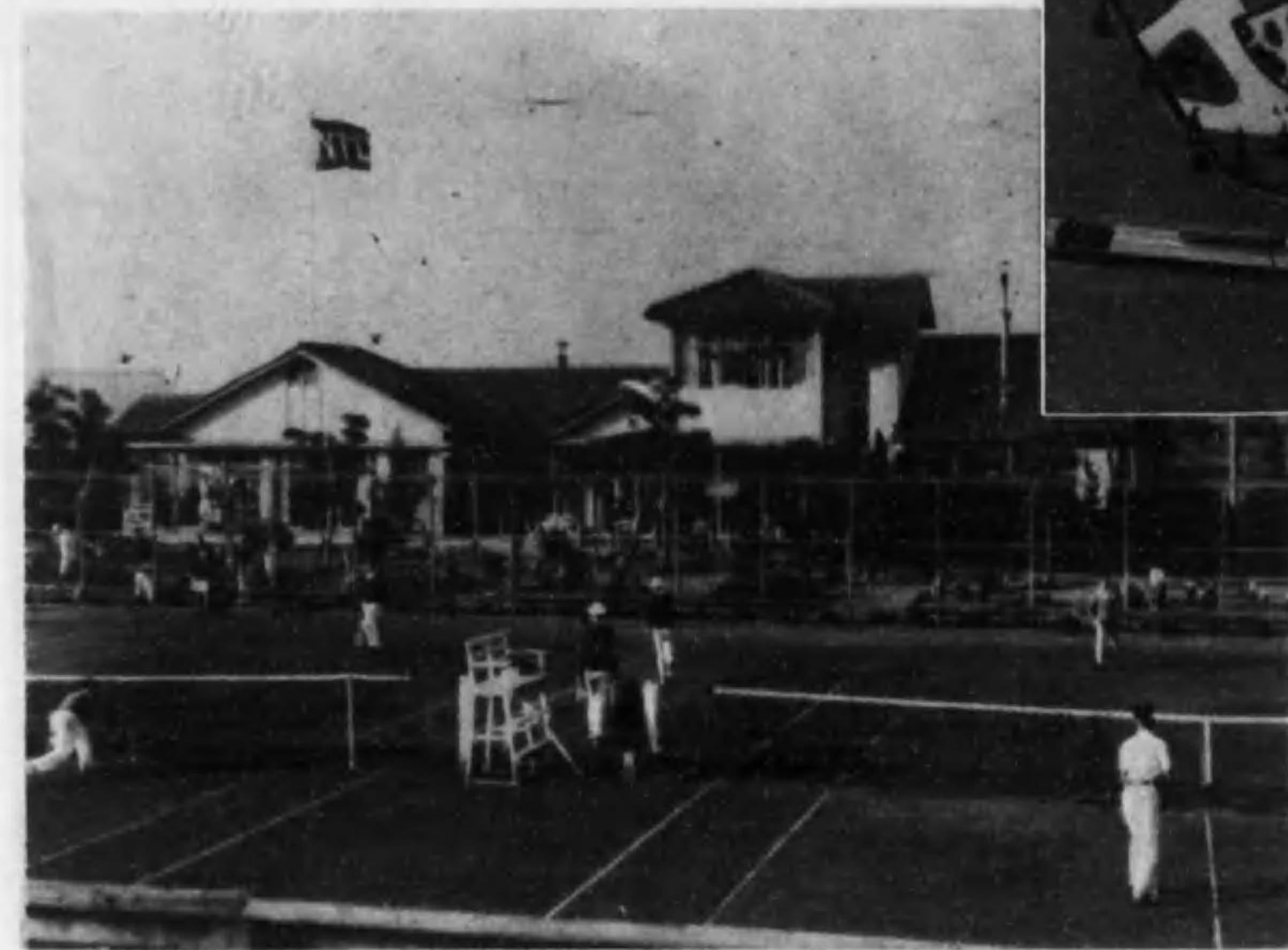
と示した處



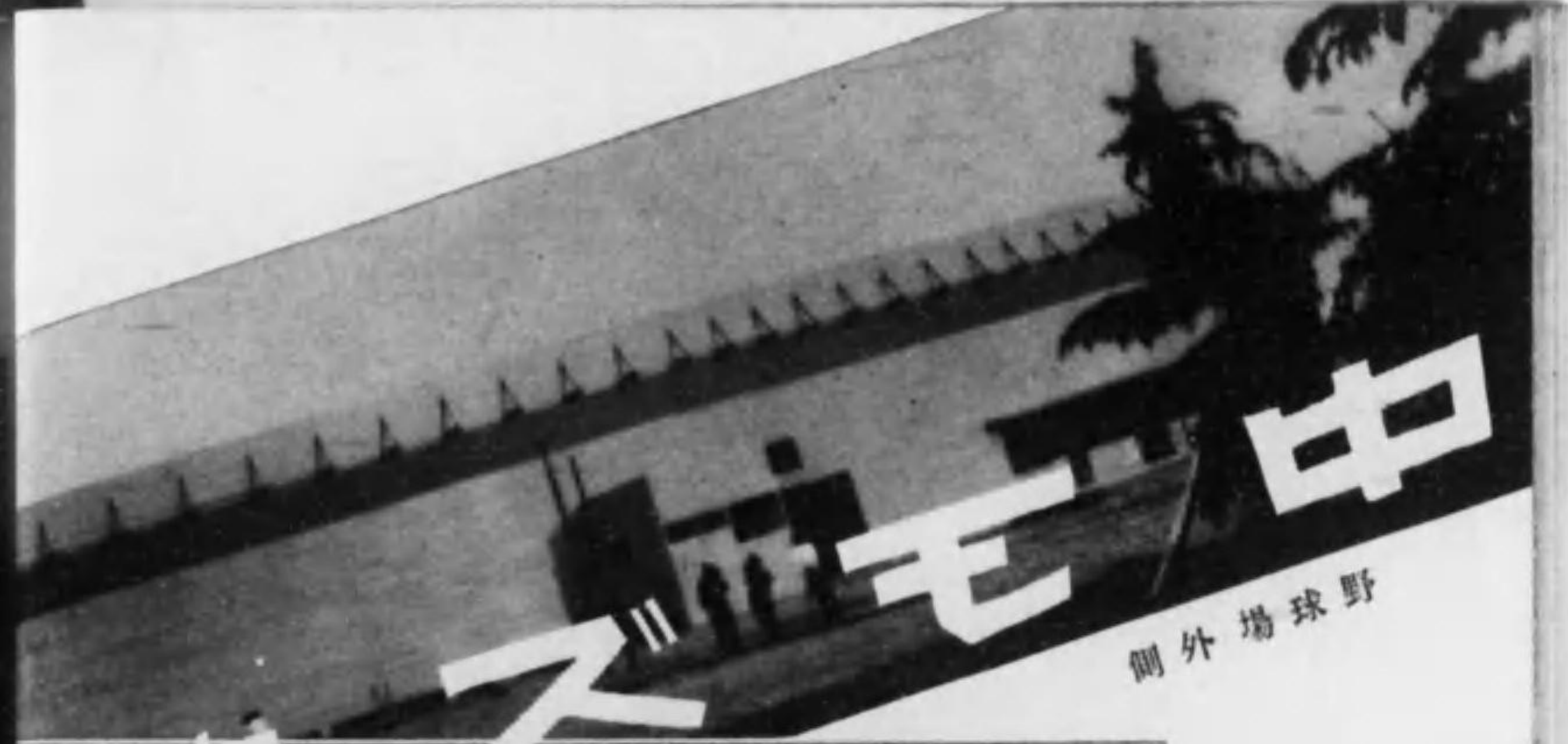
野球スタンド



運動場



庭球場



中モス

野球場外側



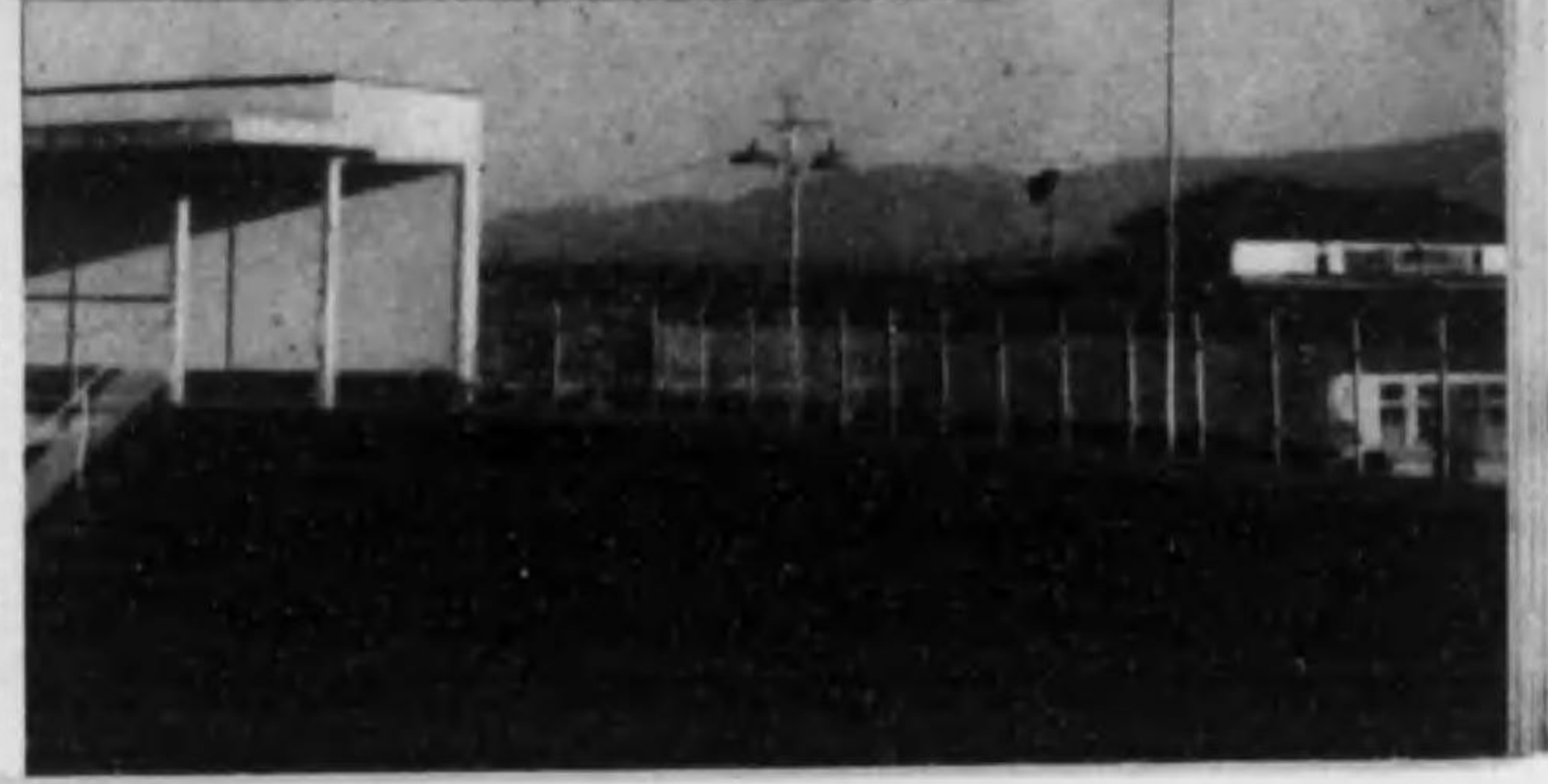
総合合

(=)(ハ)(ロ)(イ)

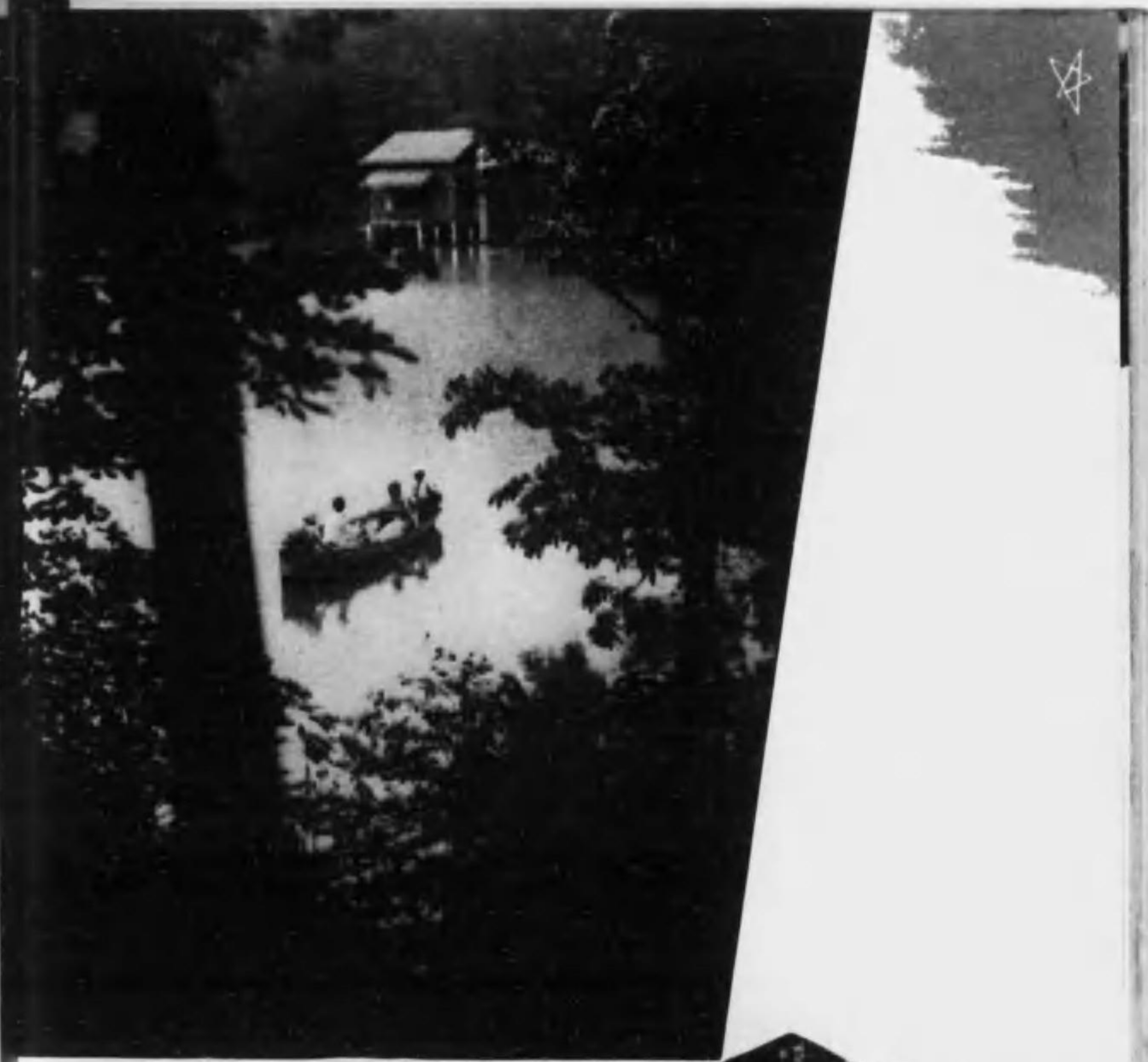
運動場事務所
陸上競技場
第二競技場
庭球場

(ト)(ヘ)(ホ)

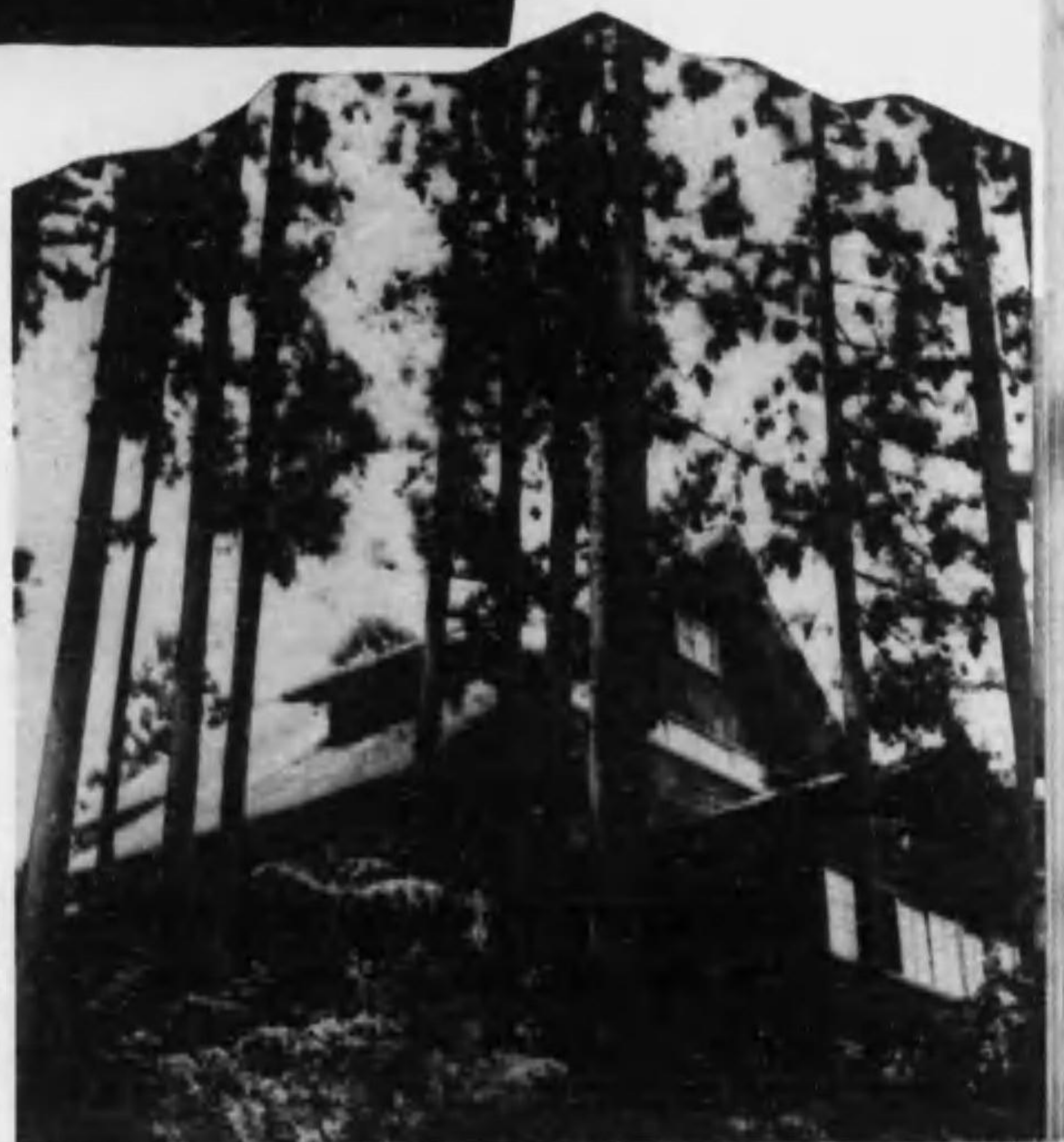
鍛錬道場
野球場
第二野球場



庭球スタンド



池ノ瀧



岩湧山「山の家」

いかにせん高嶺おろしの烈しさに涙ふるひしをのゝえぞこれ

と返したので大久保卿は即時伐採を停止させ翌七月政府より官林拂下停止の嚴達があつた。縣令は地元と計り同年十一月十九日此地を公園に爲さんと出願した處翌月二十四日直ちに許可せられこの松林一帯が始めて濱寺公園となつたのである。堺縣の經營より大阪府の管理となるに及んで伐採の跡に稚松を植え風致の回復を計り現在に至つてゐるのだが明治三十年濱寺公園の恩人とも云ふべき大久保卿を偲ぶ「惜松碑」が建立され明治三十三年四月大阪府知事菊池侃二氏により建てられた「濱寺公園碑」と共に今は公園の一名物となつてゐる。

松は濱寺公園の生命である。口碑、傳説により四百年の樹齡を重ねたと云はれる黄金松や、株跡に八人座して酒を酌み得たと泉州濱寺誌に傳へる三光松はさて置き現存の名松を左に擧げて見る。

▼千兩松（公園中央入口より南方約〇・一軒）昔紀伊大納言が東上の途駕を駐めこの松を賞して「之を余の庭園に移すものあらば千兩を與ふべし」と云はれたによりこの名があると傳へられる。周一丈三尺、高六間半、樹齡八百歳、公園第一の老松である。▼羽衣松（公園南方、羽衣驛又は阪和濱寺驛西南〇・三軒）本山氏邸にあり一名「當次松」とも呼び、周一尺五寸、千兩松に次ぐ名松として附近の住民が「羽衣松」と名付けたのである。「當次松」は明治初年當次と云ふものがこの松を落札したが落札金の納入遅延する中に伐採中止となり松の生命が助かつたのでこの名が生じたと云はれる。

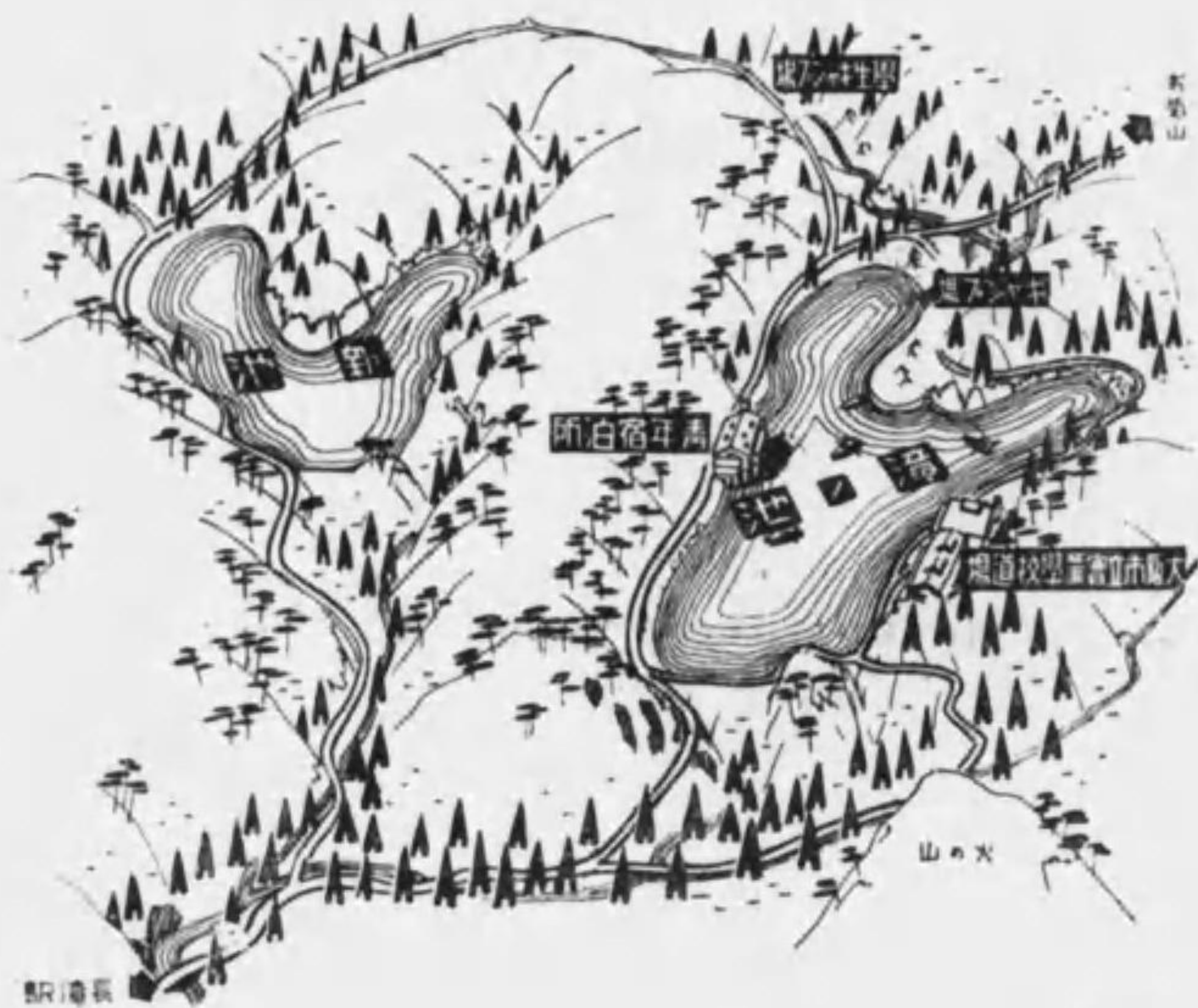
其他白蛇松（周十一尺五寸）、鳳凰松（周十四尺五寸）蓬萊松（周十三尺七寸）臥龍松（周十一尺七寸）などの老松、名木があり何れも枝振りよく葉の色麗はしく公園に美観を添えてゐる。

▼大雄寺（濱寺）**躰趾**（伽羅橋驛南すぐ）後村上天皇の正平年中の始め三光國師が勲を奉じて建立したもので金松山大雄寺と稱し禪宗である。濱寺とは吉野山寺に對して呼ばれたものでこれが地名濱寺の起源となつた。後村上天皇は深く三光國師に歸依され落慶の日には、鳳駕親臨、百官參駕したりきと傳へられるのと、舊蹟地發掘物の大瓦の破片、石、金具等より考證して見るに「伽藍魏々として封境廣し」と和泉名所圖繪にあるが如く當時の宏壯さが偲ばれる。應仁年中兵火に罹つて荒廢、再興の事がなかつた。法燈こゝに絶えて幾星霜大正四年十二月高石温故青年會によつて同寺の趾に大雄寺舊蹟の碑が建てられたのである。

▼農業博物館（羽衣驛又は阪和濱寺驛西南〇・三軒）財團法人富民協會によつて昭和七年八月竣工開館された東洋唯一の農業博物館で總面積は九百余坪陣列面積五百余坪、二百にあまる陣列ケースに盛られた農業資料の數々は日本農村大衆の生きた知識としてまた新日本農業の指標として巨大な存在をなしてゐる。

觀覽料 大人十錢（小兒半額）

▼富民寮 富民協會が紀元二千六百年記念事業の一として農村青年のために建設した宿泊訓練所で農業博物館に隣接し木造二階建延二百余坪、宿泊所、食堂、その他浴室もあり家庭的に施設されてゐる。宿泊出来る團體は各種農業學校學生、生徒、青年團、青年學校生徒、農業關係各種團體等である。



瀧ノ池（山手線長瀧驛東四軒）

關西の芦ノ湖と呼ばれる瀧ノ池は泉南郡上之郷村の山間に在る二萬餘坪の大池で翠巒をめぐらし緑林に抱かれた夢のやうに美しい瑠璃盤である。この池を圍んで大阪府、市後援のもとに逐次各種の體育施設が行はれ現在の如き厚生保健の自然公園となつたのである。

瀧ノ池の開鑿は何時の頃やら不詳であるが種々な點より考察するに數百年の昔らしく灌漑用として上之郷村の田地に代々豐饒を齎らしてゐる。池の形狀は鉢の如く水は飽く迄澄澄ピラミッド型の火の山を倒影して風光明媚、

時鳥啼く幽遠境である。

この池が漸く世人に注目され始めたのは昭和八年お菊山コースが開かれハイカーの認識を深めたのによる。昭和十年には緑林の下溪流の注ぎ入る池畔をキャンプ場として共同炊事場、避難小屋、飲料水井等を設け翌年五月大阪府教護聯盟の推奨を得てこゝに體位向上施設の第一歩を踏み出したのである。そして十一年五月には新緑むせぶ中に我が國最初の青年宿泊所（山の家）が竣工し一般開放するに至つて瀧ノ池はハイカーの聖地として愈々その名を高めるやうになつた。ついで十五年十月錦繡火と燃える池畔に豪壯な大阪市實業學校道場の落成披露式が舉行され、こゝに瀧ノ池は名實共に心身鍛錬厚生道場としての眞面目を發揮する事になつたのである。

なほこの地たるや春は蕨狩りによくまた躑躅池を染め、初夏には山桃熟れ白百合咲き秋は桔梗、萩など清楚な花園をつくり松茸、栗などの山の幸も豊富である。のみならず池には鯉、鮒、モロコが多く公魚の放養もあつて太公望を極め込むことも出来、また貸ボートもある。

青年宿泊場（山の家）

コツテチ風の素朴でしかも瀟洒な松丸太組の建築は附近の風景によく調和し一泊ハイカーや自然に親しむ人々の愛好を受けてゐる。建坪二十坪、水面に掛足とし階下は賣店倉庫、炊事場、浴室、便所、爐を取付けた談話室兼休憩場、水上バルコニー等で二階には廿五人分の

（手前）大阪實業學校道場
（右）青年宿泊所



ベッドがある。

宿泊券（阪和天王寺驛で發賣）毛布付三十錢 炊事道具使用料十錢
薪代（一束）十錢 入浴料五錢

大阪實業學校道場

大阪市民の保健厚生に寄與するため大阪市教育部の専用に供してゐる。新味を加へた山小屋風の様式で建坪は二〇九坪、一階は玄關、大ホール、寢室、和室、事務所炊事室、浴室、便所等で二階は寢室二百五十人分、指導員室等になつてゐる他に日本間三部屋（八疊二間、十疊一間）がある。

▼意賀美神社（長瀬驛東一・五軒）延喜式内の神社で高靈龍神を祀る。境内は七百坪本殿は室町時代の建造にかゝり國寶となつてゐる。▲茅渚宮の址（長瀬驛東南一軒）この宮は允恭天皇が衣通姫を居らしめ屢々行幸遊ばされた所と云はれる。姫は粧粉を施さずしておのづからの美艶あり、その美しさは着物を通じて外に溢れたと傳へられてゐる。宮の址は今田圃となつて貳拾坪ほどの圓形の地のみ残り衣通姫の歌を刻した一碑がある。



岩湧山「山の家」

(高野線三日市町驛南八軒、天見驛)
(西南六軒、紀見峠驛西七・五軒)

南河内の一角、葛城山系第一の展望美を誇る岩湧山は、秀峰金剛に相對峙し清淨無比の仙境である。

岩湧山の特徴は亭々たる杉、檜の森林美、幽邃神秘的な溪谷美、廣潤優雅な草原美の三者を兼備してゐる事であるがまた全山は珍奇な野鳥、鳴禽類の棲息地としても見逃せない。主なるものは林間を跳梁するあけがら、こげら、枝を飛び交へ梢に囀る大るり、つんどり、一聲は谿に響かうほととぎす等で春から秋にかけては全山ひねもす小鳥の合唱である。更にまるがたはなまきりやこよつすちはなまきりなど富士や御嶽ならでは棲息しないやうな珍種の昆虫も発見され、植物の分布状態も高山系をなし珍らしい高山植物も採集される。従つて一般ハイカーの他に愛禽家、博物學者等の來訪が多いので是等登山者の便を圖り昭和十四年には山頂に簡單な「峰の家」を建てたが其後登山者の激増により狹隘を感じたので翌十五年五月十五日更に「山の家」の竣工式を見るに至つた。

この山の家は古刹岩湧寺の直下景勝の場所を選んで建設された木造三階建、延八〇・二九坪で杉丸太の自然木材を使用し素朴な中にも雅趣掬すべきスキスコツテチ風の本格的建物である。

階下には爐を切つた廣間(談話室、食堂)を設け、事務室、賣店、床間附六疊の日本間、テラス、男女別の浴室、便所等の施設を整へ二階、三階には四十八名收容のベッドが上下二段に造られてゐる。宿泊料は一泊五十錢で難波驛案内所又は山の家事務所で扱ひ食事費は朝と晝が三十錢、夕食が四十錢で自炊の設備もある山の家は鬱蒼たる杉の大木に囲まれ、緑の竹林を繞り清冽な谿川の嘯きと可憐な小鳥の囀りを聞き窓をあければ重疊たる千山萬嶽の姿態を一眸に蒐め得る。こゝは俗塵を離れた別天地、魂を淨めるによき深遠境である。

ハイキングコース

紀見峠驛—根古谷—五道ノ辻—岩湧

山頂上—岩湧寺—上ノ組—中ノ組—大江時親遺跡—三日市町驛

約十七軒 一般向

濱寺公園驛(バス)—佛並—瀧ノ茶屋—清水瀧—横尾山施福寺—西村—光瀧四十八瀧—キトラ山—岩湧山—岩湧寺—上ノ組—竹ノ



山の家(右) 支關(左) 膳堂兼食堂

屹―流谷八幡―天見禪 約二十軒 一殿向

▼岩湧寺 岩湧山中にあり湧出山と號し融通念佛宗極樂寺末で本尊は阿彌陀佛、大寶年間役小角の開基である。文武天皇の勅願所で歴代の尊信厚く建立當時には堂塔伽藍楹を連ねて壯麗であつたが今は本堂、庫裏、廊下、客寮、門を内に行者堂、二重塔を外に存してゐるのみだ。附近の山中には不動瀧、千手瀧が飛泉を懸けてゐる。

▼大江時親の遺跡（三門市町驛南四軒）大楠公の師で彼を精忠大節の人たらしめた時親はこの土地の者でその後裔は時親の舊居に現住してゐる。そこには時親の愛賞した「だれ櫻が今尙存しました明治四十年四月に建立した石碑があつてこの遺跡を表してゐる。



上野芝射撃場

（山手線上野芝驛東南一・五軒又は風驛東北一・五軒）

非常時局の脚光を浴びて一般銃後國民の心身鍛錬、實戦に役立つ射撃技術の向上を圖り阪和電鐵（南海に合併）直營のもとに昭和十三年一月十日瀟然たる大氣を掃がして銃聲一發開場したのが日本最初の綜合射撃場「阪和射撃場」（現在上野芝射撃場）である。

この射撃場は緑池々畔の風景に恵まれた丘陵地、詳しくは泉北郡八田莊村の平岡、八田寺、堀上、毛



穴の四大字に跨る三萬坪の地域を劃し萬全なる裝備のもとに建設されたもので實彈射場、クレ―射場をもつ一般公開の綜合射撃場である。

その開設以來、學生、在郷軍人、町内會、狩獵家、一般會社員等團體と個人を問はず婦人射手も交つて日毎に利用者激増、眞摯な射撃練習が行はれてゐる。射撃場では三八式歩兵銃、二二徑小銃、ブローニング獵銃等の銃器を無料で貸し彈丸は實費で分讓、その他一般休憩所の設備もある。

入場料は二十錢、營業時間は午前九時より午後五時迄（但し毎火曜と十二月廿五日より一月三日までは休場）

二百米實彈射場 標的は十個で木造平家建五八・六八坪の射臺をもち高さ一七米、長天端四〇米、厚天端三米の射臺を背後に地下深二・七米、長さ一九米、幅四米の鐵筋コンクリート造りの監的壕を備へ、射場と壕の連絡には電



家原寺お鈴の宮コース 上野芝驛→向ヶ丘→家原寺→平岡→お鈴の宮蜂田神社→みどり池→上野芝射撃場→家原城址→大鳥神社→鳳驛 徒歩五・八軒(家族向)

話二回線、電鈴十四線を架設してゐる。
クレー(瓦器)射撃場 長さ三十尺、幅九尺、深さ六尺、コンクリート造りの前面拋出壕と側面拋出庫二ヶ所を設け、長さ百八十尺、幅二尺五寸、高さ一尺五寸の半月型射撃壕他に木造二階建の審判席二棟、休憩所一棟がある。こゝではトラップ及びスキート射撃場が出来る。

大阪綜合射撃協會

本協會は射撃技術の向上、人格の陶冶、併せて相互の親睦を圖る目的で創立されたもので満十六歳以上の健全なる男女は何時でも入會出来る。會費は年二圓で入場料免除の特典があり毎月例會を舉行する他初心者講習會、講演會の開催や優秀射士表彰等の諸事業を行つてゐる。

詳細は大阪府泉北郡八田莊村上野芝射撃場大阪綜合射撃協會(電話風二六二)へ御照會の事

▼家原寺(上野芝驛東南〇・九軒) 一乗山菩提峯と號し眞言宗金剛峯寺派で文武天皇の慶雲元年に行基が當寺を創建したもので家原寺の名稱は行基誕生の地を意味してゐる。初め草堂に文殊釋迦普賢の三尊を安置し鎮護國家の祈願所とした。本尊文殊菩薩は日本三文殊の隨一で家原文殊の名は今も世に知られ一月の左義長法會、二月の節分、四月の御影供養には特に參詣者が多い。昔は伽藍高塔櫛比して壯麗美麗を極めてゐたが建武の兵亂に兵馬の巷となり永祿十二年兵燹に罹つて荒廢に歸した。其後再建復興もあつて數回の劫火を免れた南大門(天平二年建築)を始め本堂、經堂、寶藏、鐘樓、參籠所、行基堂其他現存し昔日の壯觀には及ばぬが今尙見るべきものが多い。寺寶としては行基自筆の肖像幅、般若心經、行基産髮壺器、波羅門僧正傳來の五色佛舍利等がありまた國寶巨勢金岡筆絹本着色行基繪傳參幅を藏してゐる。

▼お鈴の宮蜂田神社(上野芝驛東南二軒) 延喜式内の古社で祭神は蜂田連の遠祖天之兒屋根命を祀り僧行基も當社の氏子であつた。蜂田神社をお鈴の宮と呼ぶのは毎年節分に鈴占神事が行はれるからでこれは千百餘年の昔蜂田連某が年毎の春の始めに神山の土を採り十二個の鈴を作つて神前に祈願をこめ是を振りつゝ其音によつて吉凶を占つたことを今に傳へてゐるのである。

▼和泉式部祠(鳳驛東〇・八軒) 藤原時代の才媛和泉式部の隱遁地と傳へられ民家の間に土塀を繞らす方七、八間ばかりの中に些かな祠があり側に繪馬堂様のものが建ちその軒端に老梅一株、軒端の梅々と題せる小碑がある。

▼大鳥神社(鳳驛北〇・二軒) 官幣大社で和泉五社の隨一として古來一ノ宮とも呼ばれる延喜式の大社で祭神は大鳥連祖神である。

神城は一萬三千坪老杉古松蒼蒼として莊嚴を極め千種の森と云ふ。社殿は有名な大鳥造りで古代建築の様式を今に残してゐる。

花摘祭（四月十三日）堺渡御祭（七月卅一日）例祭（八月十三日）

履中天皇御陵

（上野芝驛西〇・二軒）百舌鳥耳原南陵と申し上げ前方後圓で四段に築上した規模雄大な山

作りである。陵は古松千歳の緑をかかげ清澄なお濠の水を四方にめぐらし森嚴自ら襟を正さしめる。



中モズ総合運動場

（高野線中百舌鳥驛西南〇・三軒）

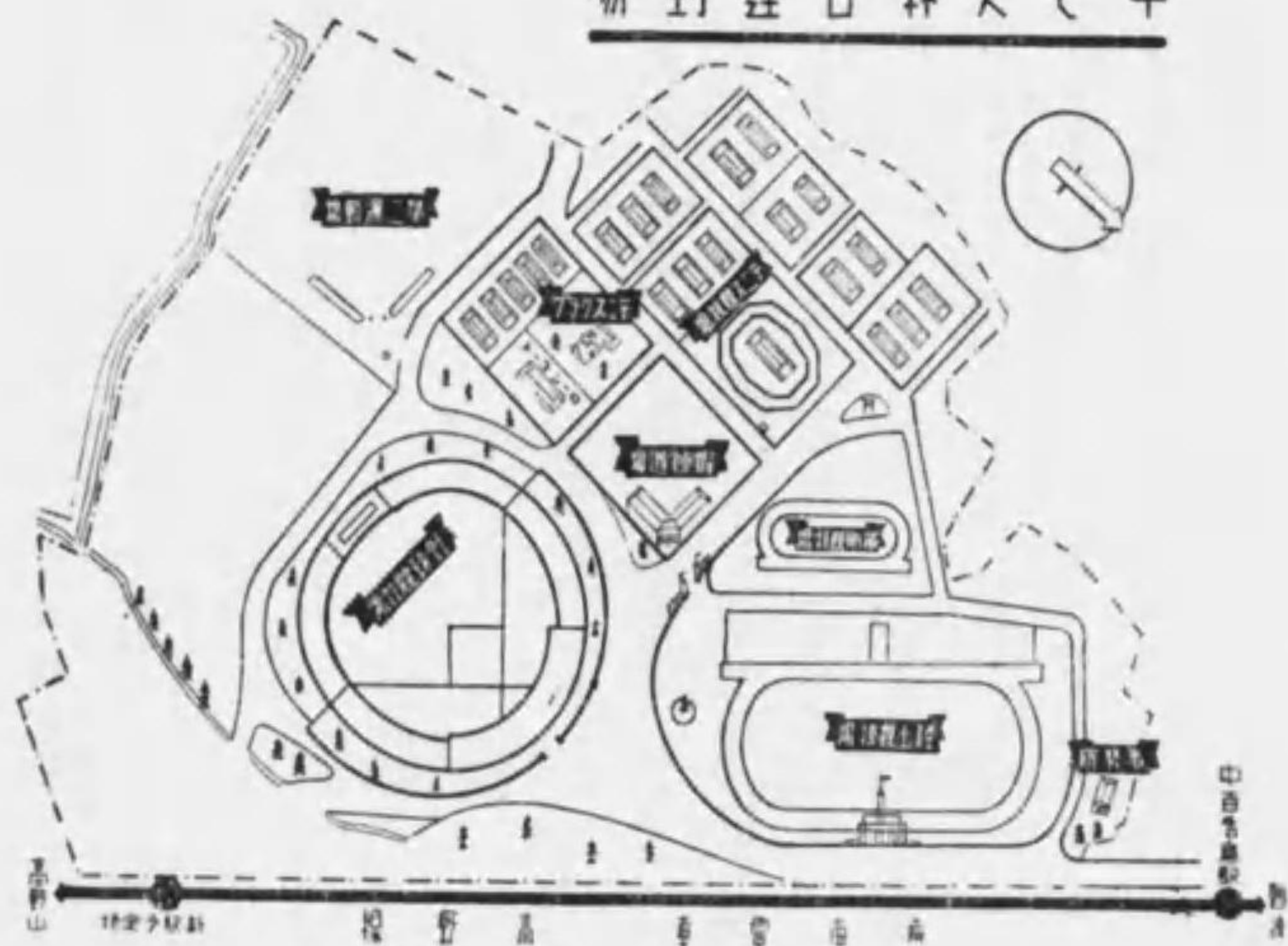
大氣清澄な百舌鳥野の一角遙かに葛城、金剛の秀峰を仰ぎ眺望にすぐれた緑の田園約五萬五千坪を劃して最新式裝備のもとに誕生したのがこの総合運動場である。

これは本社創立五十周年記念事業の一つで國民體位の向上を圖ることを主眼とする爲一般の人々が氣安く運動が出来また寛いで競技を見られるやう周到な用意、綿密な設計のもとに竣工したスポーツの殿堂で野球場、庭球場、陸上競技場を包含してゐる。

野球場

昭和十四年六月七日に竣工した清新な感覺をもつ球場で總面積は六一三四坪、グラウ

中モズ総合運動場



ンド面積五四〇五・八五坪、観覧席は木建造四八四坪、目を妨げる支柱も屋根もなく極めて見易い特徴を生かしてゐる。この球場は南海軍のホームグラウンドとして日本野球聯盟の妙技熱戦が展開されるのを始め中等學校野球等四季を通じて爽快なバットの響を聞かぬことがない。また軟式野球場三面を別に設けこれを無料で貸與し産業戦士や町内會、一般大衆の利用に供してゐる。

庭球場

綜合運動場として最初に着工されたのがこの庭球場である。観衆二千五百人を容納し得る大スタンド附コートを中心に七面、何れも日本最初のアンツーカーコートとして昭和十二年四月に初のお目見得をしたのであるが、其後擴張増設を加へ現在では二十二面、庭球場總面積六千坪に達してゐる。



コートの種類は十八面がアンツーカーコート、三面は軟球用クレイコート、そして残りの一面は日本でも稀なグラスコートで緑の芝生三百坪は白色のテーパーラインで劃され目も覚めるばかり美しく爽快なコートである。

當庭球場に於て開催される主要行事はまづ大毎主催の庭球選手権大會、全國中等學校選手権大會、女子中等學校選手権大會や庭球協會關西支部主催の春秋社會人トーナメント、又は全國女學校軟式庭球大會など枚擧に遑がない。

中モズクラブ

日本三大庭球クラブの一つたる中モズクラブは本社直營で昭和十二年十一月に組織された。クラブハウスは芝と綠樹と花壇を繞らし建坪百五十坪の蕭洒な二階建て諸施設が整つてゐる。會員は一般男子、女子、中等學校生徒、週間、及び地方會員の四部に分たれ現在會員（昭和十五年三月）は五百六十八人で數多の庭球大會を舉行し相互の親睦と厚生保健を圖つてゐる。

男子會員 入會費十圓、會費月額二圓 女子會員 總て男子會費の半額 中等學校生徒 同上

週間會員（祝祭日、日曜、土曜以外の平日コート利用の會員）入會費五圓 會費月額二圓

地方會員（京・阪・神以外の在住者で來阪の節コート利用の會員）會費 年額三圓

貸切コート アンツーカーコート年額五百圓 クレイコート年額二百圓

以上詳細は本社事業部中モズ運動場係（電話戎四一四八）へ御問合せの事

陸上競技場

總面積は八五〇〇坪、走路は全部アンツーカーを使用し觀覽席は緑の芝生で蔽はれ競技場との間隔が接近してゐる爲非常に見易くベルリン競技場に倣つてスタンド前に掘下げ選手通路を設ける等場内整理にも萬全の施設をもつてゐる。開場式は昭和十六年六月一日の豫定で近く日本陸上聯盟から第一種公認の許可も受ける。

▼トラック 面積は一四一四坪で一周四〇〇米、直線一七〇米
走路八米 ▼フィールド 面積は三五三四坪で跳躍場、走高跳、走巾跳、三段跳の競技場及び投擲、圓盤投、砲丸投、槍投、鐵鎚投の競技場を各々二ヶ所宛備へてゐる。 ▼觀覽席 面積は一二五七坪で收容人員約一萬人、主觀覽席、補助觀覽席をもつ。



別に一般の競技會用並に選手準備用として競技場外側に一周一五〇米、直線七〇米の補助競技場を設備してゐる。



海水浴場

葛城金剛を主峰とする山脈を背にして波穏かな茅渚の海に臨む沿線には濱寺海水浴場を始め至る處白砂青松遠淺のそしてオゾンに富む好海水浴場が保健施設も遺憾なく心身鍛錬道場として續々開場される。こゝでは老幼男女を問はず赫々たる太陽の直射を浴び裸の鍛錬が行はれ健康のシンボルとも云ふべき小麦色の群像が潑刺と躍動し銃後國民健康報國の意氣は正に海を壓して壯んである。

大濱海水浴場 (阪堺線大濱海岸西〇・二軒) 大阪より最短距離にあり白砂こまかく遠淺の汀を連ね特にお子達、婦人、家族向として頃合ひの海水浴場である。その施設は濱に一般無料休憩所、男

女有料脱衣所、餘興所、團體游泳場、望樓其他種々の飲食店、賣店等があり、海には投水臺、迂り臺、固定圓木、なほ貸ボートの用意もある。

この海水浴場の創設されたのは大正四年で大濱海樓棧橋(今は使用出來ず)を中心に海面約五千坪を堺市より借りその南側を男子、北側を女子游泳場として開場されたものである。近くに大濱汐湯があつて汐湯内の脱衣所は海水浴客に利用され、場内のお子達本位の厚生施設、映畫館などは海水浴場と相俟つて夏の大濱海岸を絢爛と彩つてゐる。

諏訪の森海水浴場

(本線諏訪の森西〇・四軒)

清澄、遠淺の海岸で靜かに海を味ひ浩然の氣を養ひながら心身の鍛錬を圖るに取り殘されてあつたような家族連れにも恰好な場所で學校團體海水浴場もある。



濱寺海水浴場

濱寺海水浴場

(本線濱寺公園驛又は山手線阪和濱寺驛西〇・三軒)

總ての點から東洋一を誇る大海

水浴場で濱寺公園の青松を背後に廣濶な砂濱は雪かともがう許り蜿蜒二十丁に及びしかも遠淺水清く風光明媚にして厚生施設、文化施設萬端整備せる模範的海水浴場である。當海水浴場は明治三十九年始めて開設されたのだが其頃は天幕張りで事務所を中央に脱衣所、休憩所が青海原を前に寂然とあつたのみで徒らに松籟高きを恨むの感が深かつたが同四十一年白ペンキ塗バラツク式の建物が出来場内の設備も漸次見るべきものが多くなつた。始めは陸上の施設だけであつたが同四十五年頃より海上に大投水臺を作つたのを手始めに陸・海兩様數多の設備が逐年竣工し麥藁帽子や白襦絆の頃から今日の海水帽や海水着の時代に變遷して來たのである。そして諸施設も低級趣味、娛樂本位を排除し健全なる趣味、體位向上の機能を發揮するやうに次々更改新設され以つて現在に至つたのであるがその施設の主なるものを擧げると

濱には板の歩道、櫛比せる賣店飲食街、無料有料脱衣所、休憩所、有料家族休憩所、餘興場、湯茶接待所そして海上を見守る望樓、救護所、さては土俵、ブランコ、鐵棒などを設け海には投水臺、固定圓木、ヨット、貸ボート、救護船の設備があり就中海上ステージは優雅な姿で背波に浮び豊富な餘興で慰安を興へてくれる。

その他海水浴期間中間斷なく全國花火大會や數多の有意義な催物が舉行されるがまた團體精神の訓練游泳技術の練磨を目的とする濱寺水練學校及水泳講習會を始め團體游泳場も開設される。

二色の濱海水浴場

(本線二色濱驛西一軒) 白砂と青松

との二色が目覺むるばかり美しく。その故に二色の濱と呼ばれるに至つた。この濱は沿線稀に見る原始的な松林に包まれて清淨と明朗の申分ない健康別天地である、當所の開發は昭和八年六月でその後學校生徒や一般海水浴客も益々増加し「二色濱」驛も假停車場から常設停車場となり今では沿線隨一の將來性を有する海水浴場となつた。

その他沿線には湊(湊驛)、助松(助松驛)、樽井(樽井驛)、尾崎(尾崎驛)、深日(深日驛)、加太(加太電鐵加太驛)、磯ノ浦(加太電鐵磯ノ浦驛)等の海水浴場がある。





ゴルフリンクス

ゴルフが近時運動本来の目的に進みつゝあり殊に老壯年に最適の運動競技としての認識を深め日毎に眞摯なゴルフアーが増加してゐる事は銃後國民の體位向上を語る上に喜ばしい現象である。南海沿線には關西唯一のシーサイドコースたる大阪ゴルフリンクスと高原氣分の横溢する信太山ゴルフリンクスとがあり何れも秀れた特徴をもち大阪南郊に緑の厚生境を展開してゐる。

大阪ゴルフリンクス (本線南淡輪驛すぐ)大阪ゴルフ俱樂部に屬するこのリンクスは本線淡輪、深日兩驛間の海岸に面する山水明媚の地、廣袤二十四萬坪のシーサイドコースとして凡ゆる條件を備へ土質も良好に田畑小丘を取り入れて

茅海を一望に收める海寄りのホールスや磯の香高く海潮岩を嚙むグリーン、山を背に或は翠の丘に抱かれたホールス等

變化の多いゴルフコースはまたオゾンに富み風光絶佳で春は桃咲きつゝじ紅く夏は白砂青松の濱邊で海水浴も面白く附近は魚釣り、網引の名所でもあり一家團樂の清遊を兼ねてゴルフの醍醐味に浸ることも出来る。

ビジタース・フキー 休祭日十五圓、土曜日十圓、平日七圓(何れも税別)

キャディー・フキー(十八ホールス) A一圓、B九十錢、C八十錢 **レッスン・フキー** 一ラウンド

(所要時間一時間) 一圓 **貸クラブ** 一セット二圓五十錢

なほ關西川奈の稱ある風光を充分觀賞する爲景勝の場所には宿泊及休憩の設備がある。

宿泊(一泊に付き) 會員四圓其他五圓、休憩一人に付き五十錢

▼詳細は大阪府泉南郡淡輪村大阪ゴルフクラブ(電話淡輪三五)又は大阪市南區難波南海鐵道株式會社事業部事業課(電話戎四一—四八)へ御照會のこと

信太山ゴルフリンクス (山手線信太山驛東南二軒) 信太山ゴルフクラブに屬するこのリンクス

は昭和十一年五月大阪南郊唯一のゴルフコースとして信太山高原の一角に開設されたものであるが異色ある丘陵の起伏と大小數多の池を取り交ぜて水に松にフキーチュアが醸し出されてをり難しからず容易からざるコースは全てのプレーヤーが自身のハンデキャップに相應してプレーを楽しむことが出来る。

附近は所謂信太山高原をなし葛城、金剛の二秀嶺を背後に、明鏡茅渚の海を距て、淡路島を望み春は黒島山の桃美しく初夏は池をめぐりて躑躅咲き夏は涼風絶ゆるなく秋は野の花咲き亂れる風光清麗な地である。

ビジタースフキー 休祭日七圓、土曜日五圓、月曜日—金曜日三圓 **キャディー・フキー**(十八ホールス) A八十錢、B六十五錢、C五十錢 **レッスン・フキー**(ワンラウンド)三圓 **グリーンフキー**一圓



高野山スキー場

(高野線高野山驛より女人堂迄バスそれより一軒)

法燈あまねき天下の靈場高野山はまた冬季スポーツ界の王座を占めるスキー場としても著名である

大阪より最短距離にあり便利で日歸りさへも出来るこのスキー場は鶯谷の東峰八〇〇米より九〇〇米迄のピークにあつて千古斧鉞を知らぬ高野杉の鬱蒼たる原始林に圍繞された約四萬坪の静寂境である。爲に粉雪に近い良質の雪は風化作用による斑を生ずることがなく第一ゲレンデより第三ゲレンデ迄の緩急とり／＼の變化に富む白銀のスロープはその屋根から屋根へ巡廻出来るやうに連絡されてゐる。

スキー場へは女人堂より殆んど下り道であるから直ちにスキーを履いて緩スロープ滑降や平地行進の練習をしながらも行け、従つて家族連れの見物にも容易である。ヒニツ

テには食堂、婦人室、電話が備へられ婦人子供用スキーの用意もあり、宿泊には百餘軒の寺院、宿坊が濶い寢床を提供してくれる。

なほ最近高野山が豪壯極りないスキーツアーの中心點となつて熟練せるスキーヤー、山岳スキー黨の話題に上つてゐるがツアーは護摩壇山、伯母子岳、荒神嶽の鼎立せる千二、三百米級の原始林と樹氷の花咲く奥高野の連峰で十數本の巡廻コースや痛快なバス路の滑降など積雪量も豊富な一里より五里内外のルートが拓かれてゐるがその主なるものは左の通りである。

★櫻峠―陣ヶ峰―荒神嶽 ★薄峠―大瀧―上垣内―荒神嶽 ★笠松峠―相ノ浦―檜股―水ヶ峰 ★荒神嶽―上垣内―水ヶ峰―檜股―相ノ浦―高野山 ★薄峠―大瀧―水ヶ峰―檜股―相ノ浦―笠松峠―高野山 ★荒神嶽―伯母子岳 ★高野山―大瀧 ★高野山―新子 ★高野山―橋本(バス下リコース五里)



春木鍛錬馬場

(本線春木驛東〇・七軒
山手線久米田驛西一軒)

国防第一線に活躍する無言の戦士―軍馬の育成、鍛錬は重要な國家的事業である。その故に政

府では各府縣一箇所に軍用保護馬鍛鍊場を設け馬匹の改良、鍊成に資する目的で鍛鍊馬競走を開催してゐる。

大阪府では軍用保護馬鍛鍊場を泉南郡春木町の舊春木競馬場に指定し大阪府畜産組合聯合會主催のもとに春秋二回鍛鍊馬競走が行はれてゐるが同鍛鍊馬場は昭和十五年五月南海鐵道株式會社の所有となり、その施設も逐次増改築を加へ面目を一新するに至つた。總面積は約五萬三千坪、緑の田園を劃し、遠く金剛葛城の二秀峰を仰ぎ、近く春木川の清流に臨み眺望も優れてゐる。現在設備の主なるものは

- 觀覽所（鐵骨コンクリート三階建一棟、木鐵合造二階建二棟）
- 優等馬票發行所、審判所、厩舎其他

今後鍛鍊馬場としての眞價を發揮すべく種々な計畫を立て實行に移してゐる。

南海鐵道株式會社「厚生施設」

定價・金拾五錢

著作者	落合久雄
發行人	大阪府區廳新地六番町 南海鐵道株式會社 淺田敏章
印刷人	大阪府區江戶崎南通二丁目二三 プラトイン印刷社 今村繁三郎
發行所	大阪府區廳新地六番町 南海鐵道株式會社

昭和十六年五月二十日印刷
昭和十六年五月廿七日發行



濱寺海水浴場

大濱海水浴場



二色の濱海水浴場



終

